



【取扱説明書(UEP83A)】

この度は、当社工具をお買い上げ戴き、誠に有難うございます。

- ご使用に先立ち、この「取扱説明書」全てよくお読みの上、指示に従って正しく使用して下さい。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

●注意文の警告、注意の意味について

	警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容の注意。
	注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な事項を記載していますので、必ずお守り下さい。

I. 安全上の注意

- 工具を正しく安全にお使い戴き、火災、感電、怪我などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上の注意」を必ずお守り下さい。

	警告
(1) 作業環境	
1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読み下さい。	
2. 本取扱説明書に指定された用途以外にはお使いにならないでください。	
3. 可燃性の液体やガス、粉塵のある所では使用しないでください。 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因となります。	
4. 作業場所は明るくし、常に整理整頓を心がけてください。	
5. 作業場所に、関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険ですから注意してください。	
(2) 電気に関する安全事項	
1. 電動工具のプラグはご指定のものを必ずご使用ください。また絶対に電源プラグを改造しないでください。	
2. 電動工具を使用中に、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。 (例) 鉄パイプ、電子レンジ、冷蔵庫、暖房器具など	
3. 電源コードは乱雑に扱わないでください。 ・コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。 ・コードには熱、油、尖ったものに近づけたり触れたりしないでください。 ・コードを傷つけたり、もつれたりしないように扱ってください。	
4. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿ったまたは濡れた場所で使用しないでください。 ・工具内に水が入り、本機による感電やバッテリーが短絡する恐れがあります。	
5. 使用環境に適した充電コードを使用してください。	
(3) 作業上の安全事項	
1. 十分に注意をして作業を行ってください。 ・電動工具を使用する場合は、作業内容、取り扱い方法など注意を払い慎重に作業してください。 ・次のようなときはご使用しないでください。 ①疲労しているとき ②飲酒しているとき ③薬を服用しているとき	
2. 安全保護具を使用してください。 ・作業時には必ず保護メガネを使用してください。また、粉塵の多いところでは防塵マスクを併用してください。 ・作業環境に合わせて、安全靴、保安帽なども併用して下さい。	
3. 工具のスイッチに指や手をかけて持ち運ばないで下さい。機械が不意に作動すると危険です。	
4. 電動工具の電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取り外されているか必ず確認してください。残っていると大きな事故につながる可能性があります。	
5. 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。	
6. 作業に適した服装で行ってください。 ・だぶだぶの服やネクタイ、ネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないで下さい。 ・屋外での作業の場合には、皮手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。 ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆って下さい。	
7. 電動工具が吸塵用の場合は、吸塵用装置や吸塵バックが正しく取り付けられているか確認してください。	
(4) 電動工具の使用方法和手入れ	
1. 無理な作業はしないでください。工具の能力にあった負荷でご使用ください。	
2. 電源スイッチが作動しない場合は危険ですので、使用しないでください。使用せずに修理に出してください。	
3. 電動工具を調整するときや保管する場合は、スイッチを切り本体からバッテリーを外してください。	
4. 使用しない工具や付属品の保管場所として、次のような場所は避けてください。 ×お手持ちの手が届いたり、簡単に持ち出せるところ ×温度や湿度の急変するところ ×湿気の多いところ ×直射日光の当るところ	

5. 電動工具を長くご利用いただくために、保守点検をしてください。 ・可動部の調整及び締め付け、部品の摩耗状況のチェック、破損部品のチェックを行ってください。 ・メンテナンス不足は故障の原因となります。 ・故障なく使用できるように、刃物類は常に手入れをしてください。
6. 先端工具は鋭利できれいな状態を保持してください。
7. 電動工具、アクセサリパーツ及び部品は、作業状況や作業効率に合わせて使用してください。 また指定された用途以外に使用すると、事故の原因となります。
(5) 充電工具の使用方法和手入れ
1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。 スイッチが入っている状態でバッテリーを差し込むと、機械の破損、事故につながります。
2. バッテリー及び充電器は必ず純正のものを使用してください。純正以外のものを使用すると発熱、火災、損傷の原因となります。
3. 改造したバッテリーの使用及びバッテリーの改造は絶対にしないでください。
4. バッテリーは他の金属と一緒に保管しないでください。 ・釘、コイン、ネジ類、小さな金属片などと保管すると、短絡して発熱、火災の恐れがあります。
5. 本機を保管する場合は、必ず電源コードとバッテリーを外してから保管してください。
6. 過酷な状況下(高温など)では、バッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体には触れないでください。 ・万が一、触れてしまった場合は、直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合も、直ちに水で洗い医師の治療を受けてください。 ・バッテリーの液は、炎症や火傷の原因となります。
(6) 整備及び修理について
1. 本機が故障した場合は、専門家に依頼し純正部品のみで修理してください。 ・本機が発熱したり、異常に気付いたときは点検・修理に出してください。 ・本機は安全規格に適合しているため、改造はしないでください。 ・修理は必ず、お買い上げの販売店もしくは当社にお申し付けください。
(7) その他の安全事項
1. 使用する前に損傷した部品がないか確認してください。 損傷した本機、充電器、コードは使用せず、良品に取り替えてください。
2. 本機に取付けるアクセサリパーツは必ずメーカー推奨品を使用してください。これ以外のものを使用した場合、故障や損傷の原因となりますのでご注意ください。
3. 作業物はしっかりと固定して作業してください。
4. 本機及び充電器、バッテリーは水に濡らさないようにしてください。損傷、火災の原因となります。
5. 電源プラグを外すときはケーブルを持って引き抜かないでください。また、電源コードは足で踏んだり、絡ませたりしないでください。損傷の原因となります。
6. 使用済みのバッテリーは一般家庭ごみとして廃棄しないでください。
7. 充電器、バッテリーに衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
8. 充電器の通風口を塞がないでください。また、ほこりの多い場所での充電はしないでください。 火災の原因となります。
9. 充電器は、充電以外の用途には使用しないでください。
10. 充電中に発熱などの異常に気が付かれた場合は、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発火、破裂の恐れがあります。
11. 充電中は、充電器やバッテリーを箱の中や布などで覆わないでください。破裂、火災の原因となりますので、風通しの良い環境で充電してください。
12. バッテリーを炎天下や火のそばなどの高温の場所で充電、使用、保管しないでください。 バッテリーは気温が50℃以上のところでは保管しないでください。バッテリーの劣化や発火の恐れがあります。
13. バッテリーパックの充電は、気温が10℃以下または40℃以上のときはしないでください。 破裂や火災の恐れがあります。
14. 使用済みバッテリーは絶対に焼却しないでください。火中で爆発する可能性があります。
15. 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
16. 発電機からの充電は絶対に行わないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
17. 本機の充電器は、家庭用AC100～240V以外のご使用はしないでください。

II. 電動工具の使用上の注意

	注意
1. 運転中は、絶対に回転部には手を触れないでください。怪我の危険があります。	
2. 運転中は、工具類や回転部などに手や顔などを近づけないで下さい。怪我の原因になります。	
3. 軍手など巻き込まれる恐れのある手袋は使用しないでください。	
4. 機械や付属品は、その能力を超えて使用したり、急激な操作はしないでください。	
5. 先端工具や付属品は確実に取付けてください。外れたりケガの原因となります。	
6. 取付けられたカバーやネジは外さないでください。	
7. 高い場所では下に人がいないことを確認してから作業してください。また、本機は安全で安定した場所に置くようにしてください。	
8. 人や生き物などに向けて機械を起動させないでください。	

Ⅲ. UEP83Aの使用上の注意

⚠ 警告

- 本製品はサンダー、ポリッシャーとして機能するように意図されています。
- 本機で研削や切断、またはワイヤーブラシを使用した研磨などの作業は行わないでください。事故やけがの原因になります。
- パッド類の取付ネジが、本製品の取付穴径に適切に適合するものを使用し、作業面は確実に固定してください。不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
- 作業前にパッド類に破れ、過剰な摩耗などの異常がないことを確認してから使用してください。また、落とした場合は損傷がないか点検してください。
- 本機を運転したまま、本機から離れないでください。また、作業中は本機を確実に保持してください。けがの原因になります。
- 本機を万力などで保持した使い方はしないでください。けがの原因になります。
- パッド類がはさまったり、引っかかったりすると強い反発力(キックバック)が生じることがあります。キックバックはけがの原因になるため、下記の項目を守ってください。
 - 本機をしっかり保持し、不意のキックバックに備えてください。
 - パッド類の近くに手を置かないでください。
 - キックバックが発生したときに、本製品が弾き飛ばされる方向に身体を置かないでください。本製品は引っかかりが発生した時点のパッド類の回転と、反対方向に弾かれます。
 - コーナーや鋭い角の作業時はキックバックが生じやすいため注意してください。
- 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出るときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- 本機およびバッテリー端子部(取付部)に変形が生じた場合は、使用しないでください。バッテリーを取付けた場合に短絡して、発煙・発火の恐れがあります。
- 本機の端子部(バッテリー取付部)に、切りくずやほこりがたまるないようにしてください。性能が低下したり、故障の原因になります。

⚠ 注意

- ご使用する前に必ず、各取り付け部品が緩んでいないか確認してください。
- パッドにバフを取り付ける際は、お互いの芯を合わせ、手のひらでまんべんなく押し付けて、確実に取り付けてください。
 - しっかり取り付けしていないと、稼働したときにバフが飛び出す可能性があり危険です。
- 本機に取り付けるアクセサリパーツは、必ずメーカー推奨品をご使用ください。
- 本機のバッテリーは、寿命を延長させるため、出力を自動停止させる保護機能が付いています。スイッチを押してもモーターが停止しないうちは、この機能が作動しています。
 - 本機は過負荷をかけるとモーターが停止します。スイッチを放し、再びスイッチを入れると使用することができます。
 - バッテリーが加熱した場合(過負荷などによる)、停止します。スイッチを放し作業を中止し、バッテリーを冷却してください。冷却後、再び使用できます。
- 本体が熱くなり、異常がある時はご使用しないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- 使用後は
 - 子供の手の届かないところに保管してください。
 - 湿気や振動が少ない場所に保管してください。
 - バッテリーを取り外し、グリップや全体の汚れを乾いた布などでよく落としてください。
- 本機の汚れを除去する場合、樹脂部分は次の溶剤で拭かないでください。ひび割れや破損の原因となります。(ガソリン、シンナー、ベンゼン、アルコール、アンモニア、オイル、塩素系など)

Ⅳ. 作業方法

⚠ 注意

- 回転速度の切り替え
 - 速度切り替えレバー
 - モーターの回転が完全に停止している状態で速度切り替えレバーを「1」低速 ⇄ 「2」高速に切り替えます。
 - ※ 速度切り替えレバーは正しい位置にセットしてください。1と2の間の位置で使用すると故障の原因になります。
 - ※ 速度の切り替えは、モーターの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えると故障の原因になります。
 - トリガーロックボタンの操作
 - トリガーロックボタンをA側から押すと、トリガースイッチのロックが解除されます。
 - トリガーロックボタンをB側から押すと、ロックされます。
- 

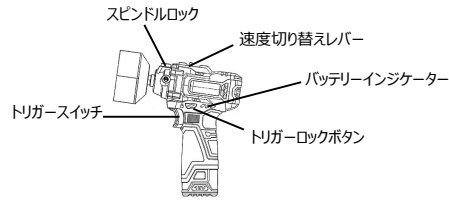
A
解除



B
ロック
- トリガーロックボタン
- 「1」低速: 0~2,600rpm
「2」高速: 0~7,800rpm
- ※ 本製品を使用しないときは、ロックボタンをロックの状態にしておいてください。
- スイッチのオン/オフ
 - トリガースイッチを引くとオンになり、放すとオフになります。
 - トリガースイッチの引き加減により回転数が変わります。

4. サイドハンドル

- サイドハンドルは右側または左側に取り付けが可能です。作業にあつた位置にしっかりと取り付けてください。
- ※ サイドハンドルの取り付け・取り外しの際は必ず本製品を停止し、バッテリーを取り外してください。



Ⅴ. バッテリーパックの脱着、充電方法及び注意

⚠ 注意

- 本体とバッテリーの取り付け・取り外し
 - ※ バッテリーの取り付け・取り外しの際には、必ずスイッチが切れていることを確認してください。
- | | |
|--|--|
| <p>取り付け</p> <p>① バッテリーを本体に差し込み、</p> <p>② カチッと音がするまでしっかり押し込みます</p> | <p>取り外し</p> <p>① 左右の赤いボタンを押しながら、スライドさせて</p> <p>② バッテリーを取り外します</p> |
|--|--|
- 



- バッテリーの充電方法
 - ① 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。ランプが緑に点灯し、電源が接続されていることを示します。緑LED
 - ② 充電器の端子をバッテリーに差し込みます。
 - ③ 充電中は赤ランプが点灯し、完了すると緑に変わります。赤LED
 - 充電上の注意
 - 本機の充電器は、家庭用AC100~240V以外でのご使用はしないでください。
 - 充電は気温が10~40℃の範囲で行ってください。
 - 使用直後の熱いバッテリーは充電できない場合があります。その場合はバッテリーが冷えてから充電してください。
 - 新品のバッテリーパックや長期間使用していないバッテリーパックを充電しても、満充電にならない場合がありますが、これは故障ではありません。数回充電し、完全に放電させてから再度充電すれば満充電にすることができます。
 - 連続して2個以上のバッテリーを充電する場合は、充電器の保護のため15分以上間隔をあけて充電してください。
 - 充電後は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 雨や雪の中、高温での充電はしないでください。
 - 発電機からの充電は絶対にしないでください。
 - バッテリーの保管は直射日光を避け、乾燥した低温のところで保管してください。
 - その他の注意点
 - 満充電のバッテリーは再度充電しないでください。
 - 使用済みバッテリーは、リサイクルとなります。
 - 充電器及びバッテリーの保管場所として次の場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - × 温度や湿度の急変する場所
 - × 湿気の多い場所
 - × 直射日光の当たる場所
 - × 揮発性物質の置いてある場所
 - 充電器の電源コードが断線等で交換が必要な場合は危険ですので必ずご購入の販売店または弊社製品取扱店に修理を依頼してください。

【バッテリーのリサイクル】

使用済みバッテリーは、セロハンテープなどで絶縁してから、最寄りの「リサイクル協力店」にお持ちしていただき、備え付けの「小型充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。

※「リサイクル協力店」は一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。



リチウムイオンバッテリーはリサイクルへ

⚠ 注意

この取扱説明書は大切に保管してください。(お使いになる方が、いつでも見ることができる所に) 騒音に関しては法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲に迷惑をかけぬよう規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、遮音壁などを設け使用して下さい。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話番号